

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会
通 所 介 護
大津みやび野デイサービスセンター

令和6年度 事業計画

目 標	利用者の活力向上を意識し、身体状態に応じた機能訓練を実施するとともに可能な限り個々の利用者や家族の意向に副った活動や支援をすすめていくことで、自宅生活の継続を図る。
理 由	身体を動かす機会が減っている利用者に対し、自宅生活の継続に必要な日常生活動作の維持・向上を意識した機能訓練を行いたいため。 また、アンケートをもとに利用者や家族の通所介護サービスに関する意向を確認し、可能な限り対応していくことで、利用継続、稼働率の向上につなげたいため。
具体的対応策	1. 自宅生活の継続を意識し、利用者個々の身体状態に応じた個別機能訓練を実施する。 2. 利用者や家族の通所介護サービスに係る満足度とサービスの質の向上を図るため、利用者や家族に意向を確認するアンケートを実施し、可能な限り、意向に副った活動や支援を提供する。

令和6年度 事業報告

事業報告	機能訓練は、アンケートや自宅訪問、家族や職員からの聞き取りにより利用者の身体状態を把握し、利用者個々の生活環境の課題を踏まえ、本人の状態に合った機能訓練を実施したことで、利用者一人ひとりにとって目的が理解しやすくなった。 訓練時には日常生活を意識し、行っていることで活動量が増え、体力や精神面等の心身機能を維持することができた。また、機能訓練以外にもレクリエーション活動や行事は感染症対策を行ったうえで実施したことで、余暇時間が充実し、「楽しかった」「元気になった」との言葉が聞かれ、好評を得ている。
事業運営総括	新規利用者は定期的に増えたが、体調不良により入院されたり、医療的サービスに変更になったりする利用者もいたため、稼働率の上昇にはつながらなかった。利用回数の追加を希望する利用者もあり、稼働率は70%後半を維持できた。また、定期的な外出支援や季節に応じた作品作りなどは、利用者同士のコミュニケーションが深まったり、ストレスの緩和につながったり、良い気分転換になっていると好評を得ている。 今後も利用者や家族の意向を踏まえ、事業所によるサービス提供を受けながら一人ひとりが安全で楽しく快適に過ごせるとともに、社会生活を保持できるような取り組みを考え、行っていきたい。 引き続き事業所での取り組みや行事等を居宅介護支援事業者や家族へ積極的に発信し、稼働率の上昇を図っていきたい。

要介護度の状況 《平均要介護度 介護1.35 》

令和7年3月31日 現在

	人 数	割 合
事 業	3	4%
要支援 1	8	11%
要支援 2	12	16%
要介護 1	28	38%
要介護 2	11	15%
要介護 3	8	11%
要介護 4	3	4%
要介護 5	1	1%
合 計	74	100%

月間利用実績（人数）

令和6年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合 計
事 業	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	3	3	25
要支援 1	10	9	8	11	10	8	8	8	7	7	8	8	102
要支援 2	19	18	18	18	17	16	16	15	14	14	12	12	189
要介護 1	24	23	21	22	25	26	28	28	28	27	27	28	307
要介護 2	10	11	12	11	11	11	13	13	12	11	11	11	137
要介護 3	8	7	9	9	8	9	8	9	10	10	9	8	104
要介護 4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	2	3	3	43
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
合 計	76	73	73	76	77	76	79	80	78	75	74	74	911

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率 77.0%》

令和6年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合 計
事 業	8	8	9	9	16	17	17	26	24	23	22	24	203
要支援 1	34	33	29	38	40	28	30	25	22	21	25	28	353
要支援 2	135	131	127	138	113	113	115	112	99	90	89	81	1,343
要介護 1	230	235	202	217	227	240	262	247	238	240	244	252	2,834
要介護 2	78	92	92	81	82	84	94	88	84	73	84	85	1,017
要介護 3	57	57	66	80	69	75	86	81	77	82	82	78	890
要介護 4	42	44	42	47	46	38	43	34	21	17	28	18	420
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	8	17	14	12	51
合 計	584	600	567	610	593	595	647	613	573	563	588	578	7,111

開所日数

令和6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308

曜日別延べ利用実績

令和6年度

	月	火	水	木	金	土	合計
人数	1,238	1,239	1,126	1,171	1,203	1,134	7,111
割合	17%	17%	16%	17%	17%	16%	100%

1週当たり平均利用人員

令和6年度

	月	火	水	木	金	土	合計	1日平均
人数	23.8	24.3	22	23	23.6	22	138.70	23.12
割合	17%	17%	16%	17%	17%	16%	100%	—

回数別利用人員

令和7年3月31日現在

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
人数	23	35	10	4	2	0	74
割合	31%	47%	14%	5%	3%	0%	100%

保険者の状況

令和7年3月31日

保険者	人数
姫路市	72
太子町	2
合計	74

年齢別構成状況

令和7年3月31日現在

	65歳以下	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上	合計
男	0	0	1	2	2	4	5	14
女	0	0	2	4	16	20	18	60
全体	0	0	3	6	18	24	23	74

日常生活状況

区 分		実数	割合
歩 行	自 力 歩 行	47	63.5%
	杖等の歩行補助器使用	17	23.0%
	車 い す 使 用	10	13.5%
食 事	自 分 で 可 能	72	97.3%
	一 部 介 助	0	0.0%
	全 介 助	2	2.7%
入 浴	自 分 で 可 能	43	58.1%
	一 部 介 助	23	31.1%
	全 介 助	8	10.8%
着 替	自 分 で 可 能	43	58.1%
	一 部 介 助	23	31.1%
	全 介 助	8	10.8%

令和7年3月31日現在

区 分			実 数	割 合
排 泄	トイ レ	自分で可能	62	83.8%
		介 助	12	16.2%
	内おむつ使用		0	0.0%
認 知 症 高 齢 者			31	41.9%

対 象 人 数	74
---------	----

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4 月	桜観賞 (高濱公園)	脳トレーニング (計算、漢字問題) カレンダー作り	おもり負荷体操 平行棒運動 フロア内歩行訓練
5 月	作品作り ドライブ (御津町方面)	習字クラブ 塗り絵 (カレンダー作り)	ゴムチューブ運動 棒体操 ボール体操
6 月	ドライブ (夢前方面、蓮の花観賞)	習字クラブ 脳トレーニング (文字並び替え、言葉探し)	棒体操 フロア内歩行訓練 ゴムチューブ体操
7 月	ドライブ (御津町、海岸見学) 作品作り (七夕飾り)	習字クラブ 脳トレーニング (計算、漢字問題)	フロア内歩行訓練 下肢運動 ボール体操
8 月	夏祭り	塗り絵 (カレンダー作り) 脳トレーニング (計算、言葉探し)	ゴムチューブ体操 上肢運動 棒体操
9 月	作品作り (敬老の日等)	間違い探し 脳トレーニング (計算、漢字問題)	ゴムチューブ体操 フロア内歩行訓練 平行棒運動
10 月	ドライブ (たつの市馬場、御津町、 コスモス観賞)	習字クラブ 脳トレーニング (文字並び替え、計算)	フロア内歩行訓練 平行棒運動 ボール体操
11 月	作品作り (クリスマス、正月飾り) やながせ文化祭	習字クラブ 脳トレーニング (計算、文字並び替え)	反復体操 平行棒運動 棒体操
12 月	クリスマス会 (ビンゴゲーム、スライドシ ョー)	習字クラブ (餅花作り)	フロア内歩行訓練 棒体操 平行棒体操

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
1 月	初詣 (魚吹八幡神社)	習字クラブ 塗り絵 (カレンダー作り)	ボール体操 フロア内歩行訓練 ゴムチューブ体操
2 月	節分の豆まき	習字クラブ 脳トレーニング (計算、漢字問題)	棒体操 平行棒運動 フロア内歩行訓練
3 月	作品作り (フロアの飾り作り)	習字クラブ 脳トレーニング (計算、漢字問題)	ボール体操 フロア内歩行訓練 ゴムチューブ体操

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	お誕生会	書道、ちぎり絵	ボーリング、輪投げ、物送りゲーム、射的ゲーム、しりとりゲーム

職員間の内部研修の実施状況（令和6年度）

研 修 名	研 修 内 容	参加職種	参加人数	期 間	講師（職・氏名）
介護技術向上研修	介護技術向上、入浴支援について	全職種	9名	4月20日	生活相談員
接遇研修	法人理念、接遇について	全職種	8名	4月20日	生活相談員
安全対策研修	交通ルールについて	全職種	7名	7月22日	生活相談員
BCP（業務継続計画）訓練	自然災害時における机上訓練について	全職種	6名	5月27日から 5月31日まで	施設長、管理者
身体拘束適正化研修	身体拘束（3つの弊害、スピーチロック）について	全職種	8名	6月22日	生活相談員
リスク管理研修	事故報告書について	全職種	8名	7月27日	生活相談員
感染症対策研修	感染症対策（感染発生時対応マニュアル）について	全職種	6名	8月24日	生活相談員
介護技術向上研修	認知症ケアについて	全職種	6名	9月21日	生活相談員
BCP（業務継続計画）訓練	感染症発生時における対策訓練について	全職種	9名	9月24日	施設長、管理者
BCP（業務継続計画）訓練	自然災害時における訓練について	全職種	3名	10月24日	施設長、管理者
安全対策研修	災害発生時の対応、手順について	全職種	7名	11月23日	生活相談員
感染症対策研修	感染症対策について	全職種	7名	1月18日	生活相談員
リスク管理研修	事故報告書について	全職種	6名	2月22日	生活相談員
人権研修	人権、人権侵害について	全職種	7名	2月28日	生活相談員

法人内研修の実施状況（令和6年度）

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人数	期 間	講師（職・氏名）
人権意識研修	講義：虐待・人権侵害が想定される介護場面、人権意識、コンプライアンス、理念の共有について 演習：概念明確化等技法によるグループワーク	管理者、生活相談員、機能訓練指導員	3名	2月12日 2月27日	事務長

職員の外部研修の受講状況（令和6年度）

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研修結果の報告方法
令和6年度姫路市老人福祉施設運営 介護報酬研修会	令和6年度介護報酬改定について	生活相談員	1名	7月19日	1日間	ホテルモントレ姫路	口頭

避難等災害訓練の実施状況 （令和6年度）

実 施 日	訓 練 種 目	訓 練 内 容
6月24日	日中火災避難訓練	厨房からの火災発生時の避難誘導確認訓練
2月21日	日中火災避難訓練	厨房からの火災発生時の避難誘導確認訓練、災害発生時の対応、手順

苦情対応

受付日	苦情内容	解決方法
令和6年 5月20日	「パウチの装着について」 入浴後、人工肛門部のパウチを交換するも、利用者本人の訴えに対して、排出口が下向きでなく、外向きに装着していたことで、家族から自宅にて便が漏れていたとの連絡を受ける。	①対応の不備を陳謝する。 ②事前に説明を受けている内容に沿った処置を周知徹底することを説明する。 ③利用者からの訴えなど突発的に対応する場合は、家族に連絡し、了解のもと、処置していきたいことを説明すると理解が得られた。

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和6年 6月18日	「送迎誤り」 提供票の確認不足から併設短期入所生活介護の利用者を誤って、迎えに行った。	①提供表をしっかりと確認し、送迎表へと記載するようにする。 ②短期入所生活介護など他の居宅サービスの利用状況を確認する。 ③併設短期入所生活介護との連絡を密にとり、事前に確認する。
令和7年 3月1日	「請求間違い」 家族、担当介護支援専門員も介護負担割合証の変更に気づかず、誤った負担割合で請求する。	①金銭管理している家族に介護保険課の通知が届いた場合は、事業所への連絡を依頼する。 ②担当介護支援専門員と密に連絡を取り、情報共有を図る。 ③入居しているサービス付き高齢者向け住宅の職員にも介護保険課からの通知などがあれば、事業所への連絡を依頼する。